

## 提案型事業評価対象事業の取組状況（平成 28 年度決定分）

## (1) 平成 29 年度から取り組むもの

## ア 家族介護者交流事業（No. 1）

【今後の方向性】 改善

【所見】

- ・より多くの市民が利用できるよう、早期に、担当課、関係機関及び関係者で協議し、平成 29 年度の「改善」に向けて準備を進める。

【取組状況】 社会福祉課

平成 29 年度当初予算要求時に、高齢介護課、社会福祉協議会と協議検討し、平成 29 年度事業から実施場所、回数等を変更し取り組むこととした。

## イ 夢の平コスモス荘管理運営事業（No. 2）

【今後の方向性】 その他

【所見】

- ・施設の改修計画について、まずは庁内での検討組織を設置し、慎重に検討する。

【取組状況】 農業振興課

平成 28 年 12 月 1 日にコスモス荘庁内検討委員会を立ち上げ、これまでに 4 回の検討委員会を開催した。コスモス荘のあり方や今後の方向性について検討し、各委員の意見等を集約した。

## ウ 牛嶽ふるさと歩道維持管理事業（No. 3）

【今後の方向性】 縮小

【所見】

- ・牛嶽付近の登山コースの周遊性が確保できることを確認したうえで、安全確保及び復旧に係る費用対効果の観点から、2 つある小牧登山コースのうち、安全確保が困難な山頂まで最短の「直接登るコース」を廃止し、尾根伝いに登る「稜線コース」の維持管理を行う。
- ・早急に、通行止めの看板等を設置し、安全確保をするとともに、関係機関へ周知し、平成 29 年度から「縮小」の方向とする。

【取組状況】 農地林務課

平成 28 年 9 月に、「直接登るコース」に（仮）通行止め看板を設置した。平成 29 年牛岳山開き（5 月）までに、（本）通行止め看板を設置する。平成 29 年度中に、国と連携し地図上より「直接登るコース」の削除と、「稜線コース」の記入を予定している。

## エ JR城端線利用者チューリップフェア入場料割引事業 (No.4)

【今後の方向性】 改 善

【所 見】

- ・ 早期に、関係機関と各種イベント等での特典について協議する。
- ・ 平成29年度からの実施に向け、準備を進める。

【取組状況】 商工観光課

となみチューリップフェアの誘客促進事業として、平成25年度より実施中のJR城端線利用者入場料割引(300円割引)については、割引期間がフェア会期中に限定されている。

平成29年度においては、通年的なJR城端線の利用促進及び市内観光施設等への誘客促進に繋げるため、フェア期間以外においても、JR城端線利用者が市内観光施設等に入館する場合、入館料等を団体割引料金として対応することで準備中。

※ 対象とする観光施設等については調整中。

## オ 高齢者学級の開設 (No.5)

【今後の方向性】 維 持

【所 見】

- ・ 所管課で事業目的及び効果を考慮し対応を検討する。

【取組状況】 生涯学習・スポーツ課

高齢者学級の主体は各地区であり、中には公民館で事務処理をしているところもある。このため、平成28年8月22日の公民館長会議において、高齢者学級の運営母体を公民館として実施できないかなど、課題を提起した。その結果、高齢者の自立を促すためにも、当面は現状の運営体制が望ましいとの方向性が示された。

## カ ボランティア推進事業 (No.6)

【今後の方向性】 維 持

【所 見】

- ・ 市全体のボランティアに関するとりまとめ担当課は、企画調整課とする。
- ・ 企画調整課で所管している関連事業の実施方法については、関係課で協議する。

【取組状況】 企画調整課

平成29年度から、「市民1人1ボランティア」作文、標語コンクールの募集業務を社会福祉協議会へ移行し、ボランティア事務の一元化を図ることとする。(表彰関係は企画調整課)

## キ チューリップフェア写生画展事業 (No.7)

【今後の方向性】 維持

【所 見】

- ・歴史ある市の特徴的イベントであり、チューリップに親しむためのふるさと学習としても「維持」すべき。
- ・担当課と関係機関で所管部署や実施手法等について協議・調整する。

【取組状況】生涯学習・スポーツ課

(現在、チューリップフェア会場で写生を実施している児童数は少なく、ほとんどがチューリップをテーマとした図工の授業で作品を作製している。)

このため、平成28年6月から市小学校長会と協議を重ねており、対象学年の絞り込みや任意出展など、より良い方向を見いだすよう依頼している。

## ク 三世代同居推進事業 (個々の事業を含む)

【今後の方向性】 維持 又は 改善

【所 見】

- ・早期に、三世代同居推進事業に係る「横断的な検討会」の設置が必要である。
- ・その検討会で、三世代同居全般に関して、これまでの実績とニーズを確認し、平成29年度から「維持」又は「改善」する方向で協議を進める。
- ・併せて、三世代近居の対応についても検討する。

【取組状況】企画調整課

庁内において横断的な検討会を開催したところであり、事業によっては、次年度より三世代認定要件を近居まで拡大するとともに、補助額も拡大する予定。

## (2) 平成30年度以降取り組むもの

## ア 投票区（投票所）の見直し（No.8）

【今後の方向性】 統合

【所見】

- ・平成29年4月まで各種選挙が予定されているため、平成29年度から担当課は関係機関、関係者へ「統合」に向けた協議を行う。
- ・周知期間を経て、平成30年度以降の実施に向け調整する。

【取組状況】 総務課

施設所管課の農業振興課と連携し、東山見第2投票所（農村環境改善湯山サブセンター）の指定管理者の今後の更新予定などについて情報収集を行っており、平成29年5月以降、東山見第1投票所（庄川ふれあいプラザ）への統合に向けた地元協議を進める。

## イ チャイルドシート購入費補助金（No.9）

【今後の方向性】 維持

【所見】

- ・利用実績が多く、廃止は困難であることから、平成29年度まで現状を維持する。
- ・子育て世帯への直接的な支援であり、市としての特徴となっている。
- ・当面は維持するものの、当初の交通安全対策から、子育て支援対策へ事業目的が変わっていることを踏まえ、平成29年度以降、他の子育て支援制度の拡充など代替案を検討したうえで、改めて検討する。

【取組状況】 生活環境課

子育て支援対策事業を行っている関係課と検討を進めている。

## ウ 有害鳥獣等予察等事業費（No.10）

## エ 居宅介護支援事業（No.11）

## オ ホームヘルパー派遣事業（No.12）

## カ ひとり親家庭等医療費助成事業（No.13）